科目名称	フィジカルアセスメント	学年学期	単位数	時間数
		1 学年前期	1	30
担当教員	堀内　麻希	授業に関わる実務経験	■ 有 （ 看護師 ） □ 無	

【1】 授業概要

医療の高度化・専門化に伴い、自律性の高い看護実践や急性期医療、在宅医療に要する系統的な観察の基礎的知識および正常・異常の判断をし、評価する技術を習得する。

【2】 学習目標

1. フィジカルアセスメントの概念が分かる。
2. バイタルサインの正しい測定方法が分かり、実施できる。
3. 呼吸器系のフィジカルイグザミネーションが正しく行える。
4. 循環器系のフィジカルイグザミネーションが正しく行える。
5. 腹部のフィジカルイグザミネーションが正しく行える。
6. 脳神経系における重要なフィジカルイグザミネーションが正しく行える。
7. 運動器系のフィジカルイグザミネーションが理解できる。
8. フィジカルイグザミネーションで得られた情報をアセスメントに活かすことができる。

【3】 第 2 看護学科ディプロマポリシーとの関連性

■ 1. 生活者としての人間の理解
■ 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
■ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
■ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
□ 5. 多職種との連携・協働
□ 6. 地域医療の理解と生活の支援
■ 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	フィジカルアセスメントの概念	講義
2	フィジカルアセスメントスキル	講義
3	バイタルサインの観察とアセスメント ヘルスアセスメントに必要な計測	講義
4	呼吸器系のフィジカルアセスメント	講義・演習
5		
6	循環器系のフィジカルアセスメント	講義・演習
7		
8	腹部のフィジカルアセスメント	講義・演習
9	神経系のフィジカルアセスメント、感覚器その他のフィジカルアセスメント	講義・演習
10	筋・骨格器系のフィジカルアセスメント	講義・演習
11		
12	フィジカルアセスメントのまとめ バイタルサイン測定技術	講義・演習
13	シミュレーション準備	講義・演習
14	筆記試験【45 分】	講義・試験
15	シミュレーション実技試験	

【5】 評価方法

筆記試験（90%） シュミレーション（10%）
参加態度やフィジカルイグザミネーションの正確性を評価する。
3 段階の相対評価（A：10 点　B：7 点　C：3 点）

【6】 教科書

茂野香おる：系統看護学講座　専門分野　基礎看護学(2)基礎看護技術Ⅰ（第 18 版）　医学書院　2022
山内豊明：フィジカルアセスメントガイドブック(第 2 版)　医学書院　2020

【7】参考書

藤崎　郁：フィジカルアセスメント完全ガイド(第3版) 学研 2017
森皆ねじ子:ねじ子のぐっとくる体のみかた　医学書院　2013

【8】受講生へのメッセージ

1. 聴診器は各自で準備してください。
2. 毎回動きやすい服装で参加してください。
3. パソコン・プロジェクター・マイクは、毎回準備してください。